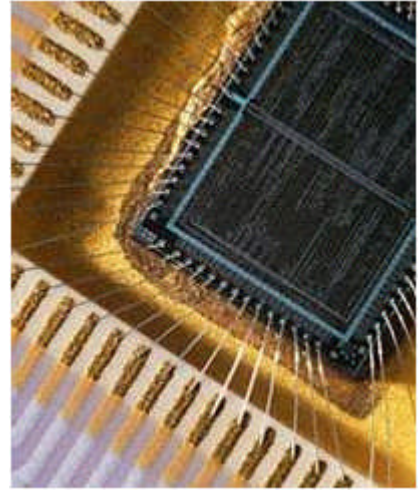
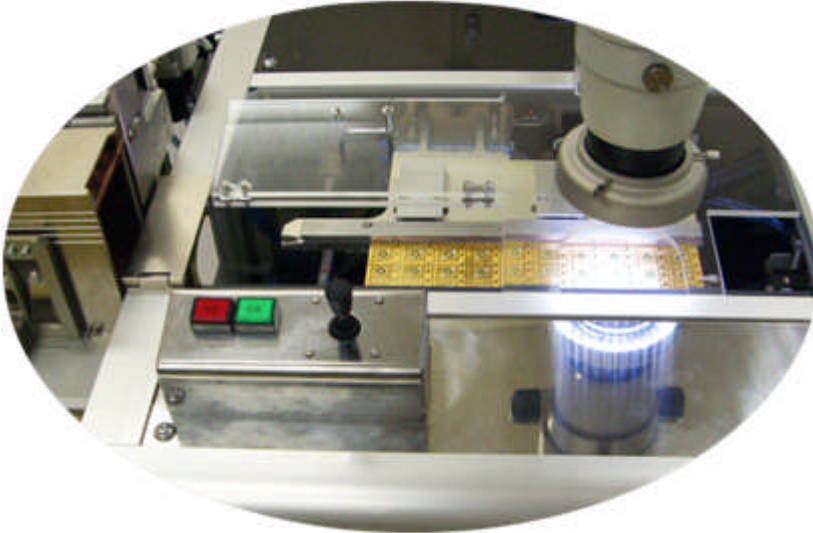


# ワイヤーボンディング目視検査装置

## ワイヤーボンディング後の目視検査支援装置

リードフレームやサブストレートのボンディングワイヤーを目視にて検査するための装置です。マガジンからのフレーム取り出し・収納、X-Yテーブルのマトリックス移動、フレーム幅に合わせたガイドトラック幅の設定は全てティーチングでき、検査モードはこのティーチングデータに基づいてフレームの搬送を自動で行うため、作業者はフレームに触れることなく検査を行うことができます。フレーム情報の登録やティーチングはPCソフトウェアにて簡単に行え、検査結果はフレーム毎に保存されます。不良ユニット数は不良種別にフレーム上の位置データと共に保存されますので、検査後の不良原因の解析にも役立ちます。



### 特徴

- ◆ リードフレーム自動搬送
- ◆ ガイドトラック幅自動調整
- ◆ PCベースソフトウェア制御
- ◆ リードフレーム情報を簡単登録
- ◆ NG処理後のフレームイメージ自動作成
- ◆ 検査フレーム数、ユニット数のリアルタイム表示
- ◆ 全数検査、ランダム検査が選択可能
- ◆ 検査結果をCSV形式ファイルで保存
- ◆ 不良ユニットのあるフレーム画像ファイル自動作成



### 装置仕様

- 装置寸法：1250 (W) x 1200 (H) x 620 (D) mm
- 重量：約 200kg
- 電源：200VAC 単相, 50/60Hz
- エア：0.5Mpa
- 制御：PC+Windows ベースソフトウェア
- 操作環境：キーボード、マウス、“OK” ボタン、“NG” ボタン、ジョイスティック

### 検査対象ワーク

- リードフレーム、サブストレート
- 幅：20mm ~ 90mm
- 長さ：Max. 250mm
- 厚さ：Max. 0.3mm

詳細は、株式会社 シンアペックス 電子機器プロジェクト部門までお問合せ下さい。